

大阪の福祉医療、いまこそ拡充を！ Part2

カジノより福祉に！ 学習交流会

「財政が厳しい」として福祉医療費助成制度の改悪を狙う大阪府

- 大阪府は来年4月から障がい者・難病患者への医療費助成制度において、患者負担の引き上げを行うとしています。また、対象者を“重度”の方に限定するとしており、これまで助成対象だった多くの方が今後制度を利用できなくなります（3年の経過措置あり）。
- 子どもへの医療費助成制度については、私たちの運動もあり現行制度が維持されることになりました。しかし、1回500円の患者負担は決して軽い負担ではありません。全国では約60%の自治体が“無料”にしています。大阪でも“無料”とすべきです。
- 大阪府は「財政が厳しい」との理由で府民福祉制度を次々とカットしておきながら、カジノ誘致などをすすめています。カジノに府民の大事なお金を使うのではなく、府民福祉第一の政策に転換すべきです。全ての府民が等しく医療を受けられるよう、いまこそ福祉医療費助成制度の抜本的な拡充が求められています。

■日時 **10月3日(火)午後6時半～8時半**

■場所 **大阪府保険医協会 M&Dホール**

■記念講演

「大阪府に医療・福祉に使うお金は本当はないのか」

講師/**高山 新 氏(大阪教育大学教授)**

■その他、現状報告、1レポートなど

↓会場地図↓



もっと福祉制度を
良くして欲しい！



カジノ作る
お金はある
のに？

- ・地下鉄なんば駅(四つ橋線・千日前線・御堂筋線)、近鉄大阪難波駅下車
- ・なんばウォーク街26-A(または30-B)を上がる(徒歩5分)
- ・JR難波駅(OCAT)を西へ、港町西交差点を右折れ、夕張屋ビルななめ向かい

主催/**福祉医療の拡充を求める大阪実行委員会**

連絡先/**大阪府保険医協会 (TEL: 06-6568-7721 / FAX: 06-6568-2389)**